

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 就労支援サービス 社会福祉行財政				
学位	修士（健康福祉科学）				
学歴	2009年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2018年4月～ 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 在籍				
経歴	2009年4月～2016年3月 大田区役所（福祉職採用） 2016年4月～2019年3月 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年4月～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

### 【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	肢体不自由教育 第242号 （担当：障害者の基礎知識3「卒業後の生活を展望して-自己実現と地域生活のための障害福祉サービスの利用-」）	共著	あり	日本肢体不自由教育研究会,64ページ	社会福祉法人日本肢体不自由児協会（分担：50-53）	2019.11
2	肢体不自由教育 第244号 （担当：障害者の基礎知識5「医療的ケアを必要とする障害児・者への福祉」）	共著	あり	日本肢体不自由教育研究会,64ページ	社会福祉法人日本肢体不自由児協会（分担：50-53）	2020.3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	視覚障害者に対する 就労系障害福祉サービスを活用した 就労支援の課題 - 就労支援機関等への訪問調査を通した一考察 -	単独		日本職業リハビリテーション学会第47回大会,大阪	富田文子	2019.8
2	The Trend of Employment Style and Wage System and the Disparity of them for Person with Disability in Japan	共同		Pacific Rim International Conference on Disability & Diversity 2020	○Fumiko Tomita; Jun Yaeda	2020.3
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	働く理由を求めて	単独		立教大学コミュニティ福祉学会『まなびあい』第12号,149-152.	富田文子	2019.10
2	社会福祉士国家試験過去問題解説集2020-第29回-第31回完全解説+第27回-第28回問題&解答	共同		中央法規出版	（編集）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（分担：186-187,340-341,492-493）	2019.5
3	2019年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模試	共同		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟	（編集）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（分担：就労支援サービス）	2019.11
4	第31回（2019年度）手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）模擬解答集	共同		一般社団法人日本手話通訳士協会	（編集）一般社団法人日本手話通訳士協会出版委員会（分担：障害者福祉の基礎知識）	2020.3

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省: 科学研究費基金 (研究活動スタート支援)	障害者の一般就労における雇用形態及び賃金体系の構造把握のためのケーススタディ	研究代表者	2019.10~2021.3
2	埼玉県立大学: 奨励研究費	社会福祉系学科学生・卒業生のキャリア形成と継続教育ニーズに関する研究	(代表者) 新井利民 (分担者) 市村彰英・朝日雅也・ 鳧末憲子・保科寧子・伊藤知子・ 大岡華子・富田文子	2019.4~2020.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	就労支援論	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また就労移行支援に従事するゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多職種連携や支援者の役割を示した。そして、特例子会社の訪問を組み込むことで、企業における就労支援の実際を学ぶことで、知識のさらなる理解に努めた。
2	就労支援サービス (立教大学)	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また各分野の講義後、複数の実践者 (社会福祉士等) のゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多職種連携や支援者の役割を示した。
3				
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	社会福祉演習		15	1年次導入科目として、グループワークを通して地域にある公的機関の存在を理解できるように工夫したり、地域に存在する課題を見つけられるようにファシリテートした。また、外部機関への電話の掛け方やプレゼンテーション用のパワーポイントの作り方等の基礎能力について教授した。
2	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	1名の学生を担当し、公的扶助や家族などの学生の希望に沿った社会問題をテーマにした専門書を中心に展開した。また、研究の方法の異なる論文を読み、その手法の理解と、得られる結果が異なることの理解に取り組んだ。
3	福祉ワークショップ (立教大学)		15	2年次生を対象に、「障害のある人の育つ・学ぶ・働くを学び、支える・自立するを考える」をテーマに、就労する障害者へのインタビューや障害児の放課後等デイサービスとの交流をとして、障害理解を行った。その後小グループごとに支援機関を訪問させ、障害者の世代ごとやサービスごとにおける地域ニーズ・課題とその解決方法について研究を展開させた。
4	相談援助演習 (立教大学)		30	7名の学生を担当し、「自分の住みたい場所での暮らしやすい生活を考える」をテーマとして、裁判員裁判・家族や夫婦・男性の育休・成年後見制度と選挙・安楽死をテーマとして、論文の輪読、視聴覚教材を活用し、前後にレポートを課すことで、学生自身の考えの変化を明確にすると同時に、グループワークを用いて他者との意見の違いを知り理解するように努めた。
5	卒業研究指導演習 (立教大学)		30	2名の学生を担当し、障害者福祉の就労支援と権利擁護に関する論文を輪読を展開した。また、社会調査の方法に関する専門書を読み、それぞれの学生が、精神障害者の雇用企業4社と重度障害者施設の支援者4名にインタビュー調査を行った。

(3) 実習			
実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1 IPW実習		2019.1	6名の学生の指導を行った。学生のグループ形成については、8月のオリエンテーションから介入することで、活発な議論のできるグループに成長できた。また実習では、重度障害者の成人後も継続した生活支援が行えるために、家族を含む機関・専門職の連携をどのように行うのか、それ以前に本人のニーズとの調整の難しさを実感した上で、理想とする生活設計を構築することにファンリテートした。
3 ソーシャルワーク実習事前指導Ⅰ		2019.10~2020.2	実習に必要な①サービスや障害・疾病、利用者に関する知識の獲得、②実習生としての記録の書き方等に関する授業準備や資料作成を行った。また、関わりを持つのではない「居る」ことの技能の習得や、実習課題の作成にはグループワークを活用して、多様な考えを知る機会を設けることで事前の準備とした。
2 ソーシャルワーク実習Ⅰ		2020.2~2020.3	障害者施設及び高齢者介護施設において11名の学生が実習を行い、巡回指導及び帰校日指導を行い、実習指導者と協議をしつつ、学生の課題の明確化を行った。また、学生には、実習における課題解決の促進に向けた助言と、学生が抱える葛藤に対する支持的スーパービジョンを実践することで、よりよい実習になるよう指導や調整した。
(4) 論文指導			
対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1 卒業研究（立教大学）	2019.4~2019.12	主指導 2名	副指導 名
2		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他			
名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1 公務員試験（就職支援）に対する学習支援及び面接対応	2019.4~2019.10	公務員試験受験者に対して、学習のアドバイスをを行った。また、2次試験（面接）のためのエントリーシートの書き方指導・添削指導等を行った。	
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1 2019年度川越市障害者福祉施設連絡協議会学習会	川越市障害者福祉施設連絡協議会	誰もが地域で共に生き生きと働き暮らせるために～障害のある人の多様な働き方について考える～	2019.8
2 ソーシャルワーク基礎研修（全4回）	MCSハートフル	（第1回）自己理解・他者理解 （第2回）個人と専門職としての考えの違いを学ぶ （第3回）就労継続支援A型の役割と面談の技術 （第4回）利用者を受容する・共感的理解を試みる	2019.9-2019.10
3 令和元年度埼玉県特別支援教育研修会	埼玉県教育局	発達に課題のある生徒に対する配慮のある教育	2020.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1 さいたま障害者就業サポート研究会	事務局員		2016.4-現在
2 大田区役所 障がい者総合サポートセンター	就労支援協力員		2016.4-現在
3 大田区役所 障がい者総合サポートセンター	就労移行支援事業所連絡会会員		2016.5-現在
4 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟	2019年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格支援委員		2017年度-2019年度
5 障害年金法研究会	障害年金裁判事例検討部会 拡大運営委員		2018.8-現在
6 埼玉県教育局 県立学校部特別支援教育課	令和元年度特別支援教育巡回支援員		2019.5-2020.3
7 みなし雇用研究会	オブザーバー		2019.9-2020.3
8 新たな障害者施設等整備検討委員会	副委員長		2019.9-現在
9 日本リハビリテーション連携科学学会	第21回大会（埼玉）実行委員		2019.5-2020.3

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	MCSハートフルA株式会社	就労継続支援A型事業所第三者委員	2017.5-現在
2	産業支援	株式会社LITALICO	LITALICOワークス エリアトレーナー養成 外部講師	2018.4-現在
3	地域貢献活動	大田区役所	自立支援協議会 地域生活部会 就労定着支援実態調査 ワーキンググループメンバー	2019.10-現在
4	地域貢献活動	大田区役所	①共同研究契約締結 ②障がいのある方の支援者向け就労支援施設ガイド『大田区ジョブブック第2版』作成	2020.1-2022.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験試験対策担当		2019.4-2020.3
2	学科等における委員会等	3年次学年担当（社会福祉学専攻）		2019.4-2020.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会誌編集委員		2019.4-2020.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				